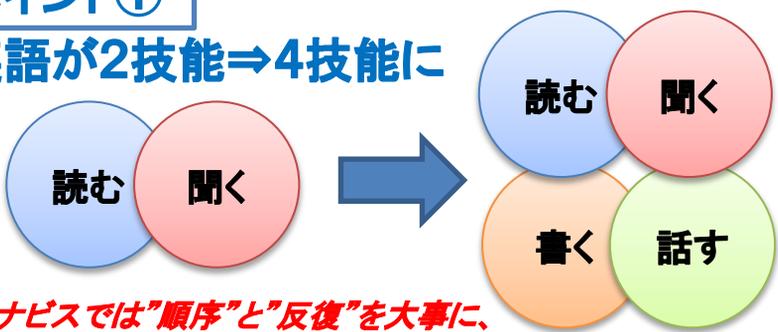


# 大学入試はセンター試験から 大学入学共通テストに!

## 新大学入試はマンナビスで対策可能! 早期通塾することが重要です

### ポイント①

英語が2技能⇒4技能に



マンナビスでは“順序”と“反復”を大事に、  
英語4技能を向上させていきます。

従来の学習内容と大きな違いはありませんが、記述やスピーキングの対策が必要になり、今までよりもやるべきことが増えました。  
また、これらの技能は一朝一夕で身に付くものではないため、早くから対策を講じている人が有利になります。

### ポイント②

英語は民間の資格・検定試験も活用

英語外部資格・検定試験の  
受検期間(高3の4月～12月)

英語は高3の  
4月から受検本番

高校生活の早い段階で、外部の英語資格・検定試験を受検することで、4技能を試す機会をつくり、  
高3生の受験期間で“スコア向上”を目指すことができます!

大学入学共通テストの英語のスコアは、大学入試センターが認定した民間の資格・検定試験も活用されます  
(※大学側が活用の有無を決められる方向で検討されています)。  
私立大学では、資格・検定試験のスコアが、出願資格・得点加点・判定優遇・合否参考・試験免除などに利用されています。  
利用の仕方は大学によって異なるので、各大学の募集要項等をご確認ください。

### ポイント③

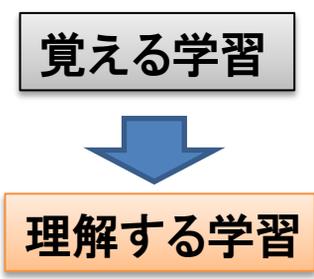
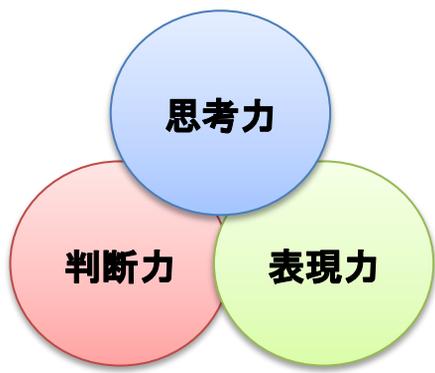
数学・国語は記述式を導入

【国語】問○  
「～」とあるが、○さんが新聞に載せるべき条件と手続きはどのようなことか。五十字以内で書け。  
【数学】問○  
～となる理由を、頂点のy座標についての不等式を用いて説明せよ。

従来のセンター試験はマークシート形式のみでしたが、一部の科目では記述式の問題も取り入れられています。  
答えを出すだけでなく、答案作成力も求められます。

### ポイント④

思考力・判断力・表現力が問われる



数学の問題文中に会話文が出たり、国語の問題文中に表やデータが与えられたりと、問題の質がガラリと変わります。そのため、基本的な学習内容だけではなく、自ら考え、応用するスキルが問われるように。覚える学習では対応が難しい内容となったため、基礎を固めるだけでなく、根本から理解するための学習が必要になります。